

## 社会教育委員に求められる役割とは

青山 鉄兵（文教大学人間科学部）

〈はじめに：2つの質問〉

- ・社会教育委員のことを、知らない人にどう説明しますか？
- ・いま、社会教育委員に求められること、はどんなことだと考えますか？

### 社会教育委員（制度）の理想と現実

◇社会教育委員の役割と意義は？

・社会教育委員の役割とは？

- 都道府県・市町村の教育委員会から委嘱される非常勤の地方公務員
  - 必置ではないが、ほとんどの都道府県・市町村で設置
  - 独任制（「社会教育委員会」はない。ただし、業務の多くは会議。）
  - 委員の多くは、学校教育・家庭教育・社会教育関係者および学識経験者など。
  - 主な役割（実態はほとんどが①）
    - ①教育委員会への助言（計画の立案、諮問への答申、調査など）
    - ②教育委員会の会議での意見
    - ③（委嘱を受けて）青少年教育団体・指導者への指導・助言（市町村のみ）
- ただし、実際の役割は自治体ごとにさまざま

・なぜ、社会教育委員がいるのか。

- 「自治体の社会教育（行政）のあり方を住民自身が決める」ための住民参加のしくみ
- （学校教育とは異なる）社会教育の特性と関連したもの

(1)社会教育行政の基本は「求めに応じて」

- 戦前の教化・動員的な社会教育への反省
  - 民主的な住民自治のための自己教育・相互教育のための間接的な支援
- 団体への補助金のチェックも重要な役割

(2)求められる社会教育は自治体ごとに違うはず

- 地域の状況に応じた社会教育の取り組み（↔学校教育の特性）
- コミュニティ・スクールという発想の新しさと新しくなさ

(3)〈人づくり〉と〈地域づくり〉の循環

- ・日常生活と密着した学習
  - ・地域と関連した学習、学習を通じた地域づくり
- 社会教育行政と地域をつなぐパイプとしての社会教育委員

◇理想と現実のギャップをどう埋めるか

・一方で、本来の理念とは異なる実態も

- 会議のための会議？ - 答申はしたけれど、、、 - 他の委員会との関係

・とはいえ、今こそ求められる社会教育委員の役割も？

- 社会教育委員が活発な地域 - 地方創生？ - 社会教育のピンチとチャンス

## 近年の社会教育（行政）の課題

### ◇社会教育行政の基盤の弱体化

- ・社会教育のヒト（職員）、モノ（施設）、カネ（予算）の縮小
  - ネットワーク・連携・協働の強調（タテ割りの是正、企業やNPOとの関係）
  - 生涯学習の振興以外の成果が求められる状況

### ◇地域の教育力を通じた学校/子育て支援

- ・地域住民による学校運営（コミュニティスクール）
- ・学校教育の充実のための支援（学校支援ボランティア）
- ・放課後/土曜日の居場所づくり（放課後子ども教室）
  - 単に、学校や子供の支援だけでなく、そした活動通じた生涯学習や地域づくりも重要
  - ただし、「地域の教育力」はどこにでもあるわけではない（地域格差の問題）

### ◇社会教育を通じた地域づくり

- ・人口減少と地域創生への関心の高まり
- ・個人的/消費的な生涯学習への反省
- ・地域づくりのために社会教育ができること
  - 地域のキーパーソンを育てる
  - 地域の課題を解決するための学習
  - ボランティア活動と生涯学習
  - 学習を通じた人々の繋がり
- ・ただし、「昔は良かった」では不十分

→こうした状況を踏まえて、各自治体の社会教育（行政）がどうあるべきか、考える必要

## 社会教育委員に期待されること

- ・行政との関係づくり
- ・委員自身の自己研鑽
- ・関係者とのネットワークづくり
- ・地域の情報収集（→行政への情報提供）
- ・自分自身が楽しむこと

（とはいえ、難しい問題も）

- 「任期」をどう考えるか
- 「団体の代表としての立場」と「委員としての立場」のバランス
- 活性化に向けた道のり